

ドミニコ宮原司教、霊名の祝日を祝う



8月8日(土)、聖ドミニコ司祭の祝日にあたり、宮原良治司教の霊名の祝いが司教座聖堂(大名町教会)にて行われ、司祭、修道者、神学生、信徒ら約250人が集った。共同司式司祭の中には、同じ霊名の田川清美神父(福岡教区)と百村等神父(聖パウロ修道会)の姿もあった。説教の中で司教は「聖ドミニコ司祭(1170～1221)に倣い、私たちも困難と思われる状況の中でも主に信頼し、使命を果たしていきたいと思います」と会衆を励ました。ミサ後、1階講堂にてパーティーが開かれ、歓談のときを持った。



矢継ぎ早の質問にも丁寧に答える宮越氏と司祭たち

台風のその日(8月25日)から翌日にかけて、大名町教会で司祭たちを対象に、冊子「新しい『ローマ・ミサ典礼書の総則』に基づく変更箇所」(日本カトリック司教協議会発行)を手に、入念な説明が行われた。講師は、カトリック中央協議会・典礼委員会秘書を務める宮越俊光氏。変更箇所の詳細は、ミサを捧げる司祭と会衆全体に及ぶもので

福岡教区司祭団 典礼研修会

ミサ典礼を荘厳に

「ローマ・ミサ典礼書の総則」変更箇所を確認
「ローマ・ミサ典礼書の総則」の一部が新しくなる。実施は今年11月29日(待降節第1主日)からになるが、それに基づき、変更箇所の説明が教区内で働く司祭たちを集めて大名町教会で行われた。



ある。その一例として、入堂した司式司祭は祭壇前で深く礼をし、聖櫃(ひつ)前で深く礼をし、会衆に直面する形で祭壇に両手をついて深く礼をする。連なる奉仕者も(祭壇に手を付かないが)司式司祭と同じように深く礼をする。また、司式司祭は必ず、カズラ(ストラを内側に)してを着けること。朗読後の「神に感謝」は隣りに立つ侍者が言うが、会衆は繰り返さない。アレルヤ唱を歌う場合、会衆は「アレルヤ」の部分だけを繰り返し、唱は聖歌隊や先唱者が歌う。ただし聖歌隊がない場合は、全員で唱句も歌うことができる。福音朗読前

ある。その一例として、入堂した司式司祭は祭壇前で深く礼をし、聖櫃(ひつ)前で深く礼をし、会衆に直面する形で祭壇に両手をついて深く礼をする。連なる奉仕者も(祭壇に手を付かないが)司式司祭と同じように深く礼をする。また、司式司祭は必ず、カズラ(ストラを内側に)してを着けること。朗読後の「神に感謝」は隣りに立つ侍者が言うが、会衆は繰り返さない。アレルヤ唱を歌う場合、会衆は「アレルヤ」の部分だけを繰り返し、唱は聖歌隊や先唱者が歌う。ただし聖歌隊がない場合は、全員で唱句も歌うことができる。福音朗読前

「教区の日」に向けて①
これからの方向性は示されている

11月23日(月・祝)に「教区の日2015」が大名町教会で催される。当日の講話を担当する山元眞神父が、講話の方向性について語る。
◆
教皇フランシスコは昨年11月24日、「現代世界における福音の告知について司教、司祭、助祭、男女奉獻生活者、そしてすべての信徒の皆さんへ」向けて使徒的勧告『福音の喜び』というメッセージを送りました。その翻訳は今年の6月20

の「主による福音」の後の「主に栄光」を唱える時には、全員が親指で額と口と胸に小さく十字のしるしをすることなどである。出席した司祭たちの反応は鋭く、講師の説明の途中に矢継ぎ早の質問が飛び出した。
研修会の最後には、宮原良治司教司式ミサが行われた。早速、変更箇所が幾分か取り入れられたミサであったが、参加した信徒(説明を聞いていない)にとっては通常通りのミサの流れしか感じられなかった。
新しい「ローマ・ミサ典礼書の総則」は待降節第1主日(11月29日)から実施されるが、それまでには皆で学び合い、準備していく必要がある。しかし、実施の日までは、勝手に変更してミサを捧げることは控えなければならぬ。尚、「新しいミサ典礼式文」については、少しずつ準備されているが、公けになるまでには日にちを要すると思われる。



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡司教区
編集人 下町豊重
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

10月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】人身売買
【宣教】アジアにおける宣教
【日本の教会】諸宗教対話

時の話題

カンボジア

私はJLMM(日本カトリック信徒宣教師)の派遣者として、カンボジアのコンボラン水上村で活動しています。水上村コンボランは、カンボジアの中央にある、トンレサップ湖という大きな湖の上にあります。この水上村では、1600世帯以上の人が、舟を住まいとして生活しており、そのうちの

60パーセントは無国籍のベトナム人です。また子どもたちはカンボジア語が話せないために、公立学校に通うことも出来ません。水上村の住民の多くが、公共のサービスにアクセスすることが出来ず、カンボジアの社会から孤立しています。私たちは、保健衛生教育、病人支援、家庭訪問調査、識字教育、奨学金支援などの活動を通して支援を行っています。私たちの目的は、プロジェクトの成功や、目に見える大きな成果ではありません。カンボジアは内戦の影響もありアジアの中でも経済的に貧しい人が多い国です。

しかし心の豊かさを感じます。それは喜怒哀楽の感情表現が豊かだからです。村人同士の喧嘩も頻繁にあります。しかし村の誰かが亡くなった時は、皆で悲しみ、新たな命が誕生した時は、皆で歓び育てていきます。私はコンボランにいても、現地の人々から学び、一緒に神の国の実現を目指し、神の愛を行動によって示し、派遣地に先立つておられる神様の働きを、小さな人々の中に見出すことが信徒宣教師の役割だと思っています。
久留米教会出身 井手司



聖母被昇天に各墓地で祈念ミサ

聖母被昇天の8月15日、福岡の教区和田墓地と、北九州墓地で追悼式と納骨式が行われた。
★創立40周年を迎える北九州墓地には430人が集まり牧山勝美神父主式、説教を深堀勝人神父が行った。
★福岡の和田墓地には、350人が参列して宮原良治司教の主式で行われた。8月13・14・15日と開放されていた和田墓地には、3日間で1046人の参詣者があった。

召命の集い
11月3日(火・祝)

9時：開会式 / 13時半：ミサ

<テーマ>

呼ばれています！いつも！

11月3日(文化の日)は、
神学院福岡キャンパスに集まろう！



10時15分から、カテドラルにて

めには「フランシスコ、ローマ司教、神のしもべたちのしもべ。この書簡を読む皆さんに、恵みといつくしみ、そして平和があるように」と記されています。
この二つの文書は全キリスト者に向けられて書かれた、いわば教皇からわたしたちへの手紙のようなものです。
この二つの「手紙」には現代社会で様々な問題や課題に悩むわたしたちに、これからの教会、世界の進むべき「方向性」がはっきりと示されています。
「福音の喜びは、イエスに出会う人々の心と生活全体を

満ちます。イエスの差し出す救いを受け入れる者は、罪と悲しみ、内面的なむなしさと孤独から解放されるのです。喜びは、つねにイエス・キリストとともに生み出され、新たにされます。この勧告において、わたしは、この喜びを特徴とする福音宣教の新しい旅の段階へとキリスト者を招き、今後数年の教会の歩みの道筋を示したいと思います」「福音の喜び」

久しぶりの帰省。美しい海山を持つ故郷に帰った。もう両親はいない。住んでいた家は空き地になっていた。しばらくたらず、思い出にふけりながら、抑えきれない涙を飲む。「ここで寄り添ってご飯を食べ、ここで一緒に毎日祈りをしていたな。ここに父がいて、ここに母がいて、自分はここで話を聞いていたな」などと過去をよみがえらせる。辺りは変わりなく、時間だけが過ぎ去っていた。近所の人が、「ああ、帰っていったんですね。元気でしたか?」と声を掛けてくれた。「まだ、覚えていてくれたんだ」とうれしくなった。かつて通い慣れた教会にも足を運ぶ。何十年と変わらないイエスとマリアの像が「お帰り」と言ってくれる。「あの頃、熱心にお祈り事をしたな」といった記憶が戻ってくる。祭壇の奥の聖櫃(ひつ)から、「ずっと前からあなたの町の人たちを見ていたんだよ」というご聖体の声が聞こえる。「いつもありがとうございます」「ごいいます」とお礼を述べる。どんな時でも絶えず居てくださるご聖体に、「これからもよろしくお祈りします」と祈る。中庭は友達と相撲をしたり、ボール遊びに興じたりしたことを思い出させてくれた。「いつも手を広げて迎えてくれて、手を合



『信仰の伝達』を生きる③
生き方を変えるのは、今です

『努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る』。
どこかで読み、残っている言葉。不満がよく口をついて出る自分の怠け癖が思い知らされる。ある意味、毎日是不満のぶつかりあい。

第Ⅱバチカン公会議閉幕50周年目に当たる今年の12月8日、教皇フランシスコは『いつくしみの特別聖年』を開年される。その意義と勧めが、回勅『イエス・キリスト、父のいつくしみのみ顔』に記されている。

先ず先人教皇たちの呼びかけを思い起こさせる。
①キリストの花嫁である教会は、寛容で忍耐強く、あわれみといつくしみの心に動かされる母です。(聖ヨハネ二十三世)

②善いサマリア人の物語が、公会議の霊性の模範。尊敬と愛をもって呼びかけ、すべての人に奉仕すること。(福者パウロ六世)

③教会はいつくしみの信仰を告白し宣言するときに真の生活を生きる。(聖ヨハネ・パウロ二世)

そして教皇フランシスコ自らが呼びかける。

『あわれみ深い人々は、幸いである...』。これがこの聖年にとくに従うべき『幸

奉獻生活の年 「キリストが愛され、知られていく」情熱は東洋へ

カノッサ修道女会を創立したマダレナ・カノッサは、1774年3月1日、北イタリアのヴェローナでカノッサ侯爵家に生まれました。若いころから、社会の隅に追いやりられている見捨てられた女性や少女たちに目を向け、必要な基本的知識を伝え、同時に識字教育、職業訓練を並行していかれます。宗教教育にも着眼し、キリストの愛の教え

の証人であるよう招かれています。」「神のいつくしみをもって、信仰を伝達しなさい」との呼びかけが...

私は、「信仰」をどのような語り伝えていくのだろうか？生き方を変えて、改めて今から「信仰の伝達」を決して怠けることなく努力しなければ。

『努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る』。
大名町教会主任 杉原寛信 神父

教区幼児教育連盟教職員研修大会

見えないものを見る力を育む



見えないものを見る力を育む。参加者は約390人。初日の講師はブルーノ・ダシオン神父(神言会司祭)で、『教育に見る宣教と福音』と題して、教育を通して福音を伝えていくことの素晴らしさ、困難の中にあっても神の愛を一人ひとり受け止めていくことの大切さ、カトリック宣教の重要性をユーモアを交えて分かり易く話した。

懇親会では熊本県の特産に舌鼓しながら、交流と情報交換ができた。

二日目は、講師を長谷川京子氏(大瀬聖母幼稚園宗教教育専任)が務め、『驚きを通

を伝え、生きる人間教育を実践していきます。そのうちに、同じ志を持つ女性たちがマダレナ・カノッサのもとに集まってきました。それが修道会の設立となり、「キリストが愛され、知られていくように」との「情熱」は、1860年香港に、さらに中国に拡がっていききました。このキリストへの愛の炎は、マダレナ・カノッサの死後25年

後に東洋に拡がったことになりました。その時日本では、プチジャン神父とキリスト者との出会いが長崎であった「日本信徒発見」の5年前のことです。そしてマダレナ・カノッサのキリストの愛を知らせる「情熱」が大牟田の地に届いたのは1951年です。当時の深堀仙右衛門司教様のお招きで「有明の地に光の存在になるように」と命名され、中

学・高校の教育が翌年に始まりました。
キリストの愛の種は、戦後の社会に続き続けられて行きます。そして、今も、これからも、十字架につけられたキリストを模倣しつつ、その愛の実践を生活に統合させながら、最も必要とされている場で、キリストの愛が続き続けられて行くでしょう。
カノッサ修道女会
Sr.角たか子

「モーセの召命」をテーマに

召命キャンプ2015

8月17・18日の1泊2日、今村教会で召命キャンプが行われました。召命キャンプとは福岡教区の小学3年生から中学3年生の男子を対象に、召命について勉強したり、遊んだりする毎年行われているものです。今年は、「モーセの召命」をテーマに、今村教会や久留米教会、佐賀教会などから29人が参加しました。

1日目のオリエンテーションは班ごとに自己紹介をした後、レクリエーション。レクリエーションでは班対抗で行われ、相手に勝とうと一生懸命に頑張っていました。

第28回目の聖モニカ祭に祈る

福岡地区カトリック女性の会



帰天した親しい人々を追悼する参列者たち

命に遊んでいました。そのあと、聖堂でロザリオをしました。子どもたちが先唱をしました。みんなで銭湯に行った後は、バーベキュー。バーベキューの野菜やお肉、おにぎりのお米は今村教会の信者の方々が用意してくださいます。子どもたちもおいしそうに食べていました。お腹いっぱいになった後はプリンス・オブ・エジプトというモーセの映画をみました。その後、晩の祈りをして1日目が終わりました。

2日目は朝の祈りに続いて、ミサをしました。ミサには早朝から宮原司教様が来てくださいました。ミサの後、司教様と一緒に朝ご飯を食べました。その後、映画のおさらいのクイズをして分かち合



班で集う神学生と子どもたち

いをしました。そして、自由に遊んだ後お昼ご飯を食べ解散しました。
このキャンプで子どもたちが神父様や神学生、仲間と関わることで、少しでも召命を感じるようになってほしいと思います。(報告 黒丸恭介)

自由席

今月は紙面の都合によりお休みいたします。引き続き投稿をお待ちしております。

◆原稿は4000字以内
◆投稿先: 福岡カトリック司教館 教区関係宛
FAX 092-5233-2152
メール cfr.kouhou@city.kyocoin.jp
※「自由席」と明記し、住所氏名、年齢、電話番号、所属教会も明記してください。
※用語その他で編集・添削することもあります。
※原稿はお返しいたしませんのでご了承ください。

司祭人事異動

(10月1日付)

◆大名町教会協力司祭イム・ドンビン神父(司教館)
日本語学校で日本語学習を継続

計報

松本フミエ 修道女

(シヨファイユの幼きイエズス修道会)



1929年長崎県生まれ。49年入会。52年初誓願。兵庫県、大阪府、長崎県、和歌山県、鹿児島県、山口県などで51年間、幼稚園の教諭や園長として幼児教育に勤しみ、献身した。2010年からは熊本本の介護修道院で療養生活を送った。入退院を繰り返しながらも、明るさと優しさで神の愛を伝えた。深い信仰の人であった。肺炎のため7月4日に熊本市の聖心病院で帰天。享年86歳。

葛島ミツエ 修道女

(聖母訪問会)



1930年8月15日 新田原で生まれ。53年入会。59年初誓願。最初の派遣地は横須賀市の聖ヨゼフ病院。鎌倉小さき花の園障害者施設に於いて看護の奉仕にあたる。控えて、優しく、病人や接した人達に親しまれた人だった。最後の3年間は郷里の新田原修道院で頸椎症と闘いながら、忍耐強く過ごし、8月14日、新田原病院にて静かに帰天した。死因は急性心不全。享年84歳。

【月例黙想会】

期 日: ①2015年11月7日(土)17時~8日(日)15時
②2015年12月12日(土)17時~13日(日)15時

指導者: 染野 治雄 神父(福岡黙想の家主任) 費用: 8,700円(税込・指導料含む)

◆黙想会の申込締切は開催の一週間前まで ◆詳細はお問合せください

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家

811-4155 宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222(9:30~16:30)
Fax 0940-32-3385 E-メール f-mokuso@fmokusou.com
インターネットで検索

福岡黙想の家

検索



ミサ用ワイン



ヴァイノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)
ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

ピース9の会 西日本の集い 「平和をつなぐ」私、そして私たちの選び



「あきらめずに…」と熱く語る
松浦悟郎司教

7月25日(土)、大名町教会で「ピース9の会・西日本の集い」が開かれた。山口県光市や長崎市など遠方からの参加者も含め、8つの地域から126人が集った。

講師として松浦悟郎司教(名古屋教区)と松藤一作牧師(福岡西部バプテスト教会)を迎え、「平和を、命をつないでいくために、私たちが何を選擇するか」を考え、分かち合う集いとなった。

松浦司教は、現代社会のこともやました空気の不安やあきらめの前に、私たちキリスト者がどのように働きかけていくか、と話しを切り出した。

「自衛隊の働きは、国際緊急援助隊としてトップクラスの技術をもって切れ目のない援助をしている。日本がどこへも攻撃しない国だから、難民キャンプの人々も安心して

ネパールより報告 川岡俊子 修道女 (福音の光修道会)

本紙6月号に掲載したネパール大地震の支援に関して川岡シスターよりその後の報告を頂いた。

去る4月末、ネパール地震被害調査とポカラ市の教会の仲間と援助活動のため2週間滞在し、7月初め状況把握のため再渡航した。その間、思いがけず、知人、友人、福岡教区のみならず他教区の諸教会、カトリック教育施設、カ

の積極的平和主義を目指している。そのためには、一人でもNO(ノー)という、一人でもあきらめずに歩くことが求められている」と話した。松藤牧師は「へいわってどんなこと?」(浜田桂子著)の絵本を用い、日常生活が送れることが平和であることを語った。また、自身が被害者意識と加害者意識のなかで葛藤した体験を分かち合い、被

福島家族支援

「博多にきんしゃい③」



今年も7月30日(木)〜8月2日(日)、梅雨明けの暑い日差しの中、福島から9家族28人(内4歳から小6までの子ども14人)を迎えることができた。今年の目標は「福岡のみんな

今年も7月30日(木)〜8月2日(日)、梅雨明けの暑い日差しの中、福島から9家族28人(内4歳から小6までの子ども14人)を迎えることができた。今年の目標は「福岡のみんな

害者と加害者の負の連鎖から脱却するためには「皆が武力を放棄していく世界、危機感からではなく違う目的で集うことができる世界」を理想として歩むことが大切で、憲法9条を「守るだけでなく、世界に広めて行く」発想が大切だと話した。

う!」に参加。THE BOMの『風になりたい』の合唱、簡単な手作り楽器に挑戦、音楽に合わせてダンスの振付というもの。

子ども達は、思い思いの空き缶や段ボールで造った楽器で合奏の練習、大名町教会の駐車場で準備された夏祭り会場で披露することができた。夏祭り会場は楽しい風船で飾られ、多くのボランティア・スタッフの協力のもと焼鳥・綿菓子等々が準備されていた。また子ども達用のゲームコーナーもあり。最後はみんな「妖怪ウォッチ」を踊り、暑い夏を楽しんだ。

3日目は海水浴。福島では海の近くに住んでいても泳げない現状を考慮し、実現してほしいとの要望で始めたものである。真つ青な海で「初めて泳いだ」「小さい時、海に行ったことがある」といながら子ども達はボランティヤの人々に見守られながら海を楽しむことができた。

夜は大濠カトリック教会館に集合し、「大濠の花火大会」を堪能。家族からは、「こんなに近くで、ゆつくりと花火が観れた」と喜んでもらった。私たちは「すべての人が笑顔になりますように」と祈りながらこの活動を来年にも続けていきたいと思っている。

午後上智福岡学園と雙葉学園の生徒、そして青年たち企画の『みんなで風になる』

必要なことを見ながら援助を続けている。学用品、食料や生活必需品を分配する時、カースト(制度)の最も低い不可触民ダリットの人たちから始める。彼らは社会の中で何かに付いて底辺に置かれているからである。貧しい食事を共にする時、小さいグループなりに醍醐味を味わえる。イエスが共にいてくださる喜びが活動の源になっていることをお伝えし、皆様に感謝申し上げます。

「テゼ」の歌による祈りの集い
――佐賀教会では青年たちが中心――

佐賀教会でのテゼの集いが始まったのは、1999年頃である。当初、聖歌隊の人達がテゼの共同体の歌の旋律の美しさに魅かれ、一緒に集まって歌うようになったのが始まり。その後、当時のイタリア人主任司祭の快諾を得て、正式な式次第を作成し集まるようになっていった。当時は詩編や福音朗読、共同祈願や主の祈りを唱える間に14曲を歌っていた。現在は8曲位にし、ギター伴奏で歌う。どれもシンプルな歌で、7・8回繰り返す。式次第自体は他の教会が使っているものと



被災地で活動する川岡シスター(右)と村人

さほど変わりはないが、朗読には、テゼコミュニケーション創立者ブラザー・ロジェ著「テゼの源泉」(ドン・ボスコ社)を用いている。また、青年たちが中心にテゼの集いを行っている、歌と祈りで神に向き合い、一致する時を大切に考えている。終了後はブレイク・タイム、おしゃべりに花を咲かせる楽しい一時も味わっている。佐賀教会では毎月第2土曜日午後8時から約1時間行っているが、興味や関心のある方のお越しも歓迎。(教区報で日程をご確認ください。代表 阿南ゆかり)

シオンと昼食を済ませ、信仰学習が始まった。信徒協の実行委員が作成したDVDやテキストは、小中学生だけでなく参加した大人の信徒もキリスト教宣教の歴史から地元の殉教者について学ぶ資料となった。午後4時からミサミサ後、バーベキューとそうめん流しによる夕食で親睦を深めて日中の部は解散。

小学校高学年と中学生の14人が宿泊して温泉や花火など楽しい夜を過ごした。就寝前の祈りの時間に、大人も交えて一人ずつ感想を述べていき、反省点とともに「他の教会の子たちと仲良くなれてよかった」「ミサの時に他の教会の子の綺麗な姿勢や動作を見習いたいと思った」「これまで知らなかった殉教者のことを勉強できた」などの感想が述べられた。

翌日の日曜日には多久教会の信徒と一緒に主日のミサを捧げ、サマーキャンプを締めくくった。信仰学習についてはこれからも継続が必要であり、子どもたちは来年度の再開を誓った。

タイムスリップしてその時代を目標しているかのよう

対立を解決するセラピー

対立を解決するセラピー

対立を解決するセラピー

信仰の伝達

第14回 通常シノドス(世界代表司教会議)

10月4日から25日までパチカンにおいて「教会と現代世界における家庭の召命と使命」のテーマで開催されます。今日の家庭が直面している具体的な状況に対応するため会議では活発な討議が期待されます。日本司教団代表は高見三明大司教(長崎)。

「宣教教令」発布50周年記念ミサ

日 時：10月18日(日) 9:30～
場 所：カテドラル大名町教会
司 式：宮原 良治 司教

2016年ワールドユースデー
クラクフ大会 公式日本巡礼団
公式巡礼団の募集が始まりました。
詳細はホームページ等でご確認ください。

【Aコース】 2016年7月23日(土)～8月2日(火) 11日間
【Bコース】 2016年7月23日(土)～8月5日(金) 14日間

【問合せ先】
2016年ワールドユースデークラクフ大会 公式日本巡礼団 事務局
電話：03・5632・4480 FAX 03・5632・4465
Email: wyd@cbcj.catholic.jp
ホームページ: http://www.cbcj.catholic.jp/jpn/committee/wyd/krakow/

福岡教区納骨堂管理委員会より

- ◆ 福岡和田墓地の一般清掃を下記の日程で行います。
日 時：10月25日(日) 9:00～
清掃後 ミサ 11:00～
- ◆ 死者の日のミサ
日 時：11月8日(日) 14:00～
場 所：福岡・和田墓地

カリタスジャパン
《ヨーロッパ難民・移民受入支援》緊急募金

内戦や政情不安の続くシリアやアフリカからヨーロッパへ流入する難民・移民が急増しています。カリタスジャパンではこのための緊急募金を受け、国際カリタス等の援助要請に支援金として送金する予定です。

郵便振替番号：00170-5-95979
加入者名：カリタスジャパン
※通信欄に「ヨーロッパ難民・移民」とご明記ください。

カリタスさいたま「9.10北関東豪雨」

台風18号などの影響で9月10日を中心に茨城県、栃木県で発生した大規模な水害に対して、被災地域となったさいたま教区は、募金の呼び掛けを始めています。

郵便振替番号：00110-0-80467
加入者名：カリタスさいたま
※通信欄に「9.11豪雨被害」とご明記ください。

北九州地区 聖書講座

年間テーマ：イエス・キリストに従って歩む教会
～ヨハネ福音書に照らされて～
日 時：11月15日(日) 14時～16時30分
場 所：カトリック小倉教会
テーマ：〔聖書週間〕イエス・キリストに従って歩む教会
～ヨハネによる福音書を振り返って～
主 催：北九州地区信徒協聖書部会

11月3日(火・祝)「召命の集い」
11月23日(月・祝)「福岡教区の日」
皆さんの参加をお待ちしております!!
(詳細は1面をご覧ください。)

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

8月の終わり頃から朝晩は
凄まじく寒くなってきました。日中
は感じられなかった。入道雲は
いよいよ雲に席を譲り、赤と
んぼが飛び交い、セミも秋を
誘う鳴き声だった。そして10
月。深まっていく秋の日々。
収穫の季節、勉学の季節、体
育の季節。：やがて訪れるク
リスマスまでにいろいろな体
験をしながら、心の実りを収
穫できるようにしたい。(S)

編集後記

熊本
熊本地区召命を共に祈る会
〔日時〕10月15日(木) 11時か
ら〔場所〕島崎教会(問合せ先
健康教会 ☎096・368・2
825 浦川務神父)

佐賀
佐賀テゼの祈り
〔日時〕10月10日(土) 20時
21時〔場所〕佐賀教会聖堂(問
合せ先) ☎080・6455・
9267 秋吉

筑後
エコ・コンサート「宇宙の詩」
～フランクフルトと共に～
〔日時〕10月4日(日) 15時
17時〔場所〕小郡教会聖堂※
入場無料(募金あり：関東・
東北豪雨被災者のために(問
合せ先) ☎0942・72・
3256 山元眞神父)

福岡
福岡召命を共に祈る会
〔日時〕10月25日(日) 14時
から〔場所〕西新教会聖堂※入
場無料(自由献金(問合せ先
☎090・4474・671
9 安藤

北九州
北九州召命を共に祈る会
〔日時〕10月8日(木) 14時か
ら〔場所〕カトリック小倉教
会(内容) お祈りと茶話会(問
合せ先) ☎0949・24・
9905 藤井

熊本
熊本地区召命を共に祈る会
〔日時〕10月15日(木) 11時か
ら〔場所〕島崎教会(問合せ先
健康教会 ☎096・368・2
825 浦川務神父)

人と人の絆を大切に・ご葬儀のご相談は
メモリードホール
業院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚
市民葬儀・法事相談センター
六本松店・赤坂店 **福岡メモリード**
0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
医科・歯科臨床研修指定病院 総合周産期医療センター
地域医療支援病院 がん診療連携拠点病院
救命救急センター 地域災害拠点病院
*入院基本料(一般病棟7:1)
〒830-8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院
受付時間 平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊吉古

キリスト教書籍・用品
お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ！
http://www.paulus.jp
パウルスショップ
メディアによる福音宣教のために・・・
サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土)／日・祝日休業／地下鉄赤坂駅より徒歩3分※駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax 739-3930

案内板

会合と催し

10月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 10月

9月28日(月)～7日(水) 福音の光黙想会(空室10)
3日(土)～4日(日) 月例黙想会
10日(土)～12日(月) 防府教会黙想会(空室0)
10日(土)～12日(月) 在世カノッサ会黙想会(空室0)
19日(月)～23日(金) 福岡教区司祭黙想会(空室0)
25日(日)～31日(土) サレジオ会黙想会(空室5)

*宗像市名残1056 ☎0940・32・3222 FAX 0940・32・3385
Email: f-mokuso@fmokuso.com

インターネットで検索 **福岡黙想の家** 検索

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ：イエス、マリア、ヨセフが祈られた詩編
・日 時：10月8日(木) 10時～14時半
・内 容：詩編42
指 導 者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
問合わせ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
・次 回：11月12日(木) 詩編137、147、150
☎0968・85・3100 〆0968・85・3186
玉名郡和水町蜻浦1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日 時：10月3日、17日、31日
11月14日、28日
10時～11時45分
場 所：カトリック大名町教会小聖堂

1日(木) 聖テレジア(幼いイエスの)おとめ教会博士
常任司教委員会
2日(金) 守護の天使 特別臨時司教総会
4日(日) 年間第27主日 高宮教会堅信式
5日(月) 福岡朝禱会
7日(水) ロザリオの聖母 †J. ノーリス(2007年 八代教会)
†J. ニドハム(2004年 マリスト)
†K. オマホニ(2003年 荒尾教会)
†E. ハトリック(2007年 笹丘教会)
9日(金) 年間第28主日
10日(土) 体育の日 マリアの祭司職運動ミサ
12日(月) 聖テレジア(イエスの)おとめ教会博士
15日(木) †フランソワ徳山登(2000年 門司港教会)
16日(金) 聖イグナチオ(アンチオケ)司教殉教者
17日(土) 年間第29主日 世界宣教の日(献金)
18日(日) 「宣教教令」発布50周年記念ミサ(大名町教会)
教区司祭黙想会(～23日)
カトリック幼稚園中堅教職員研修
年間第30主日
八代教会司祭館落成・創立125周年記念ミサ
†S. ライル(2012年 ファミリーセンター)
†H. キニユ(2004年 天神町教会)
28日(水) 聖シモン・聖ユダ使徒
29日(木) 日本カトリック医療施設協会熊本大会(～31日)

【11月】
1日(日) 諸聖人 嬉野不動山殉教祈念ミサ
2日(月) 死者の日
3日(火) 文化の日 召命の集い
4日(水) 聖カロロ・ボロメオ司教
法制行政委員会・諸宗教対話部門会議
5日(木) 常任司教委員会 †B. ガラハ(2014年 島崎教会)
■ゴチックは司教日程

福岡

◆ 日曜日18時半の主日のミサ
〔日程〕毎日曜日〔場所〕大名
町教会小聖堂
■聖霊による刷新福岡祈りの
集い〔日時〕毎週月曜11時
12時半〔場所〕大名町教会1
階〔内容〕賛美と感謝の祈り・
聖書の分かちあい〔問合せ先〕
☎092・521・2503 蓮尾
■祈りの集い・勉強会
〔日時〕10月10日(土) 14時か
ら〔場所〕聖パウロ修道会福
岡修道院〔指導〕澤田豊成神
父〔聖パウロ修道会〕〔問合せ
先〕☎092・5441・37
30 松山(聖パウロ協力者会)
■一日黙想会
〔日時〕10月11日(日) 9時
半～16時〔場所〕聖パウロ修
道会福岡修道院〔指導〕澤田
豊成神父(聖パウロ修道会)
〔テーマ〕幼子のように生き
る〔対象〕未婚のカトリック
女性信徒・奉献生活(特に在
俗会)について関心のある
方〔問合せ先〕メール shi-
masa@sanpaolo.or.jp ☎0
90・1746・2057 山
野井(聖マリア・アンヌンチ
アータ会)
■震災のための祈りのリレー
〔日時〕10月11日(日) ミサ9
時から夕の祈り18時から〔場
所〕久留米教会(問合せ先)

☎090・2305・5191
Br.阿部(パウロ会)
■シスター山本きくよライブコ
ンサート「平和を歌う」
〔日時〕10月18日(日) 11時半
から〔場所〕西新教会聖堂※入
場無料(自由献金(問合せ先
☎090・4474・671
9 安藤
■福岡召命を共に祈る会
〔日時〕10月20日(火) 14時か
ら〔場所〕司祭の家(浄水通司
教館内)〔内容〕ミサ・講話(山
頭原太郎神父と共に)〔問合
せ先〕☎092・921・4
532 山口
■グレゴリオ聖歌を歌う会
〔日時〕10月20日(火) 11時か
ら〔場所〕聖クララ寮〔内容〕
グレゴリオ聖歌ミサと荘厳司
教ミサの練習(問合せ先) ☎
096・380・5686 堺
■ザビエル聖堂チャリティバ
ザー〔日時〕10月24日(土)
11時～16時〔場所〕福岡黙想
の家・ザビエル聖堂(問合せ
先) ☎0940・33・27
31 吉永
■在世フランクフルト会集会
〔日時〕10月25日(日) 14時〔場
所〕高宮フランシスコ会修道
院在世会集会所〔指導〕ジョ
ンソン神父(カプチン修道会)
〔問合せ先〕☎092・843・
5831 岩崎
■ラスキン・黙想と祈りの集

い〔日時〕10月30日(金) 19時
45分から〔場所〕大名町教会
小聖堂(問合せ先) ☎090・
2305・5191 Br.阿部(パ
ウロ会)
■福岡ホスピスの会 勉強会
〔日時〕11月8日(日) 14時
16時〔場所〕大名町教会4
階会議室〔講師〕信友浩一氏
〔テーマ〕尊厳死を考える(参
加費) 会員500円 一般1
000円(問合せ先) ☎09
0・1162・6395 柴田
■美野島司牧センター
あなたの勇気が路上のいのちを
支えます！◆ホームレスの方に
手作りお昼ごはん 毎週火曜日
10時30分◆ホームレス支援夜回
り第1金曜日20時◆路上からア
パートに入居した方を訪問 第
3土曜日13時(問合せ先) ☎09
2・431・1419 M・コース神父
◆ 北九州
北九州召命を共に祈る会
〔日時〕10月8日(木) 14時か
ら〔場所〕カトリック小倉教
会(内容) お祈りと茶話会(問
合せ先) ☎0949・24・
9905 藤井

熊本
熊本地区召命を共に祈る会
〔日時〕10月15日(木) 11時か
ら〔場所〕島崎教会(問合せ先
健康教会 ☎096・368・2
825 浦川務神父)

佐賀
佐賀テゼの祈り
〔日時〕10月10日(土) 20時
21時〔場所〕佐賀教会聖堂(問
合せ先) ☎080・6455・
9267 秋吉

筑後
エコ・コンサート「宇宙の詩」
～フランクフルトと共に～
〔日時〕10月4日(日) 15時
17時〔場所〕小郡教会聖堂※
入場無料(募金あり：関東・
東北豪雨被災者のために(問
合せ先) ☎0942・72・
3256 山元眞神父)

福岡
福岡召命を共に祈る会
〔日時〕10月25日(日) 14時
から〔場所〕西新教会聖堂※入
場無料(自由献金(問合せ先
☎090・4474・671
9 安藤

北九州
北九州召命を共に祈る会
〔日時〕10月8日(木) 14時か
ら〔場所〕カトリック小倉教
会(内容) お祈りと茶話会(問
合せ先) ☎0949・24・
9905 藤井